

# 豊橋市立章南中学校

## 【めざす子どもの姿】

地域への思いを深め、未来を生き抜く力をそなえた生徒

## 【「環境教育」を柱とした ESD 活動の推進】

「汐川干潟を守る会」  
「汐川干潟を保全する会」  
のみなさんの協力

「未来の汐川干潟はどうあるべきだろうか」

市環境保全課との  
タイアップ

### 自然のまま保全

たくさんの渡り鳥も来るし、今のままでも十分生き物の住処になっているよ。でも、このゴミだけは何とかならないかな。



### 土壌改良

昔は潮干狩りができたり水遊びをしたりしていたんだって。今はヘドロ化した土とくさいにおい…何とかならないかな。



### 有効利用

干潟に広がっているアオサ…アサリなどの貝類が死んでしまふ一因らしい。この大量のアオサをどうにかできないかな。



平成25年 東三河の中学校で初の「ユネスコスクール」加盟

### ◆各教科・領域で実現可能な 問題解決的な学習モデル

### 【未来を生き抜く力を育てる 問題解決的な学習】

### ◆章南中で身につけたい 7つの能力・態度

<6つの授業過程>

- ①場面把握をする
- ②課題を見出す
- ③見通しをもつ
- ④自力解決をする
- ⑤集団解決をする
- ⑥振り返りをする

- ①進んで参加する態度
- ②批判的思考力
- ③多面的・総合的思考力
- ④コミュニケーション力
- ⑤協力する態度
- ⑥かかわりを尊重する態度
- ⑦計画立案力



- アルミ缶のリサイクル運動開始。
- 環境学習のシンボルとして風力発電機を2基設置。

- 汐川干潟に飛来する渡り鳥の観鳥会開始。
- 汐川干潟の530運動開始。

平成12年 「環境」をテーマとした総合的な学習がスタート



### 【安全安心な学校づくり】

- ・「豊橋学校いのちの日」に行われる「命」を考える取り組み →→→
- ・自転車運転免許制度をはじめとした交通安全教育
- ・「危機管理マニュアル」を活用した職員実践研修
- ・年4回の避難訓練（うち1回は保小中合同避難訓練）



### 【章南校区と子どもたち】

野鳥が飛来する日本有数の規模を誇る汐川干潟を有し、山や川、田園風景が広がる自然豊かな校区である。また、歴史や文化を伝える神社、寺院、古墳などの旧跡もある。

新しく開発された地区と古くから農業を営む地区が共存している。生活スタイルは多様化し、かつてのように、自然とふれあう生活体験が当たり前ではなくなっている。子どもたちはとても素直であるが、かつてに比べて自分たちの生活の場である地域への思いは希薄になりつつある。